



吉原 美智恵 議員

元気な高齢者増と健康医療推進は

町長 有効な介護サービスを検討する

【吉原】「大山町高齢者福祉計画」ができ、理念は地域の人々がお互いに協力しながら、高齢者が健康で生きがいを持って過ごすことができる社会を目指すところがある。

どのように事業を充実させていくのか。

また、烏大家庭医療教育ステーションが設置されるが、健康医療推進町として町民を巻き込み進めて行っているのか。

【町長】計画の策定にあたり、地域の抱える課題、有効な介護サービスの在り方を検討するアンケートを実施し

た。その結果を受け充実させる。

ステーションは町民と連携して健康医療に対する理解と意識を高める事業を実施する。

【吉原】加齢に伴い体力が落ちる要介護前段階が一番大事であり、地域での閉じこもり予防が大切であると思う。

アンケートの結果で、地域での活動に出たい人は88%だが、世話役への参加は27%である。仕組みづくりが必要だ。

【町長】今後検討していく。



楽しい会話で少し若返り

大山町の英語教育は

教育長

本町の現状を踏まえ改善している

【吉原】文科省の改革により、小学校での英語教育など、英会話を重視する方向に傾いているが、基礎も大事であるがどうか。

【教育長】グローバル化と共に、外国語によるコミュニケーション能力が必要とされている。

しかし、確かに「書くこと」に本町でも課題が見られ、アルファベット文字の学習は補助教材を活用し取り組んでいる。

また、英語教育の時間は、週1時間増となったが、国語や社会の時間数は変わらず、日本語については、日記指導をしている。

【吉原】英語の授業で、小5・6年生の先生方

は大変だと思うが支援は。

また、百人一首大会が盛大に行われていたが、どうなるのか。

日本の古典に親しむ良い機会であると思う。

【教育長】授業については、小・中で連携をとっている。

百人一首大会は、中高生などのボランティアと共に開催したいと考えている。



英会話が必要な機会が増えている